思いやリエキスパートへの挑戦は、ワクワク感とともに。

新しい挑戦、未知の世界へ

これまでの職場ではパートとして勤務していました。子育てが一段落し、正規雇用として腰を据えて働ける職場を探しているときに出会ったのが善仁会です。過去の職場に比べると、研修の充実度は群を抜いており、入職した全スタッフに対して「思いやり研修」が行われます。そこで善仁会グループで働くにあたっての心構えができたので、安心して仕事を始めることができました。

入職したときの年齢が他のスタッフよりも高かったこともあり、今回思いやりエキスパートの候補に選ばれたときには、少なからず不安がありました。この年齢から新しいことを覚えられるのだろうかという迷いがあったのですが、何かにチャレンジするとしたら、これがきっと最後のチャンス。そう思うと、未知の世界に飛び込めるワクワク感の方が強くなっていきました。

研修を受けて最も変わったと思うのが、人前で堂々と話せるようになったことです。私は緊張しやすいタイプで、これまでは人前で話すときに声が震えたり、顔が赤くなったりしていました。しかし、研修で自分の考えを発表しているうちに、以前よりも緊張しないようになったのです。私のクリニックには思いやりエキスパートの先輩がいるのですが、どんな状況でも動じることなく対応されていて、お手本にしていました。人前で落ち着いて話せるようになったことで、お手本に少し近づけるような気がしています。

スタッフ全員を、思いやりのエキスパートに



患者さまとの信頼関係は、言葉遣いや対応の仕方ひとつで、一瞬で崩れる可能性を孕んでいます。こだわりが強い方もいらっしゃいますし、ナイーブになられている方もいらっしゃいます。 患者さまと時間をかけて築いてきた信頼関係を維持するのは、 私の力だけでは足りません。思いやりエキスパートの研修が終わった今、個人としてのさらなるスキルアップはもちろん、施

設全体をより良く変えていきたいという思 いがあります。後輩や部下の意識を変えて

いきたいですし、皆に思いやりエキスパートを目指してほしい。私が思いやりエキスパートになったことで、これまでよりもその存在が身近になったと思います。クリニックのスタッフ全員が思いやりエキスパートになれば、患者さまの安心感はもっと大きくなるはず。そしてまた、何かにチャレンジすることにおいて、年齢は関係ないのだと改めて感じています。

笑顔と、思いやりの1じもだれが 患者さまから信頼される 看護師も目指します。

渡边美香子



